

# 季刊ジャネット Ja-Net

スリーエーネットワーク

January 2023

No. 104



## Contents

- 4 あちこち日本語ご紹介  
マダガスカル共和国 アンタナナリボ
- 5 みんなの“日本語 View from the Other Side”  
賢根 ジョン(カメルーン)
- 6 教材紹介  
「外国人生徒のための教科につなげる日本語 応用編」  
「JLPTポイント&プラクティス」シリーズ
- 8 インフォメーション



## 巻頭寄稿

# “知っていることば”の悩み

鷗来堂 校閲部 外国語校閲室

## 見坊行徳

### 気づかない意味変化

「辞書マニアとして、校閲者として寄稿を、ということでありたくも執筆をご依頼いただき、まずは自分に何が書けるだろうかと、私はつらつら考えてみました。」いきなりですが、こんな風が言ったときの「つらつら」、どういう意味だと思われたでしょうか。

- A. 深く、じっくりと。類語は「よくよく」や「つくづく」。
  - B. 続けて、途切れずに。類語は「ずらずら」や「だらだら」。
- さて、辞書は何と書いてあるか？  
お手持ちの辞書にはAのような語義が掲載されているはずです。ジャパンナレッジ(株式会社ネットアドバンスが運

営するオンラインデータベース)で『日本国語大辞典』を引いてみますと、《物ごとを念を入れてするさまを表わす語。つくづく。よくよく。念入りに》などがあり、8世紀から19世紀までの用例が載っています。こちらが本来の意味で、漢字表記では「熟」「情」と書きます。

いっぽうBを記述する辞書は現状、ほとんどありません。意外に思われる方も多いかもしれませんが、BはAよりも新しい意味です。

このように私たちの気づかない、言うなれば新語意識あるいは誤用意識がなかなか反応しないことばの変化は、数多くあります。辞書を受する校閲者としては悩みどころです。

## 校閲者の仕事

私はふだん鷗来堂という会社で校閲者をしています。仕事では、本が刊行される前のゲラ(確認用の刷り出しのこと)をお預かりし、その文章などを検査して、誤字脱字、それに誤用といった“間違い”を見つけます。ですが、内省とは時に、当てにならないものです。「こんな言い方はしない」と感じたのが単に自分が知らないだけだったり、本来的だと信じていた意味が実は最近の転義だったり。知っているはずのことばでも、“間違い”を探すときには自分の言語感覚だけに頼ることはできません。

校閲で重要なのは根拠をもって“間違い”を示すことです。ゲラに書かれた表現を直すか直さないかは、校閲者が判断するわけではなく、著者あるいは編集者に決定権があります。“間違い”のない本になるよう提案していくのが校閲者の役目ですが、校閲者が知識不足・確認不足のせいで著者の表現に要らぬ進言を加えるなど、あってはならぬこと。軽はずみな指摘を入れてしまわないよう、資料を調べるのは欠かせません。

ことばの資料と言えば辞書、というわけで日々、辞書をひっくり返しながら日々を過ごしています。辞書マニアだった自分が校閲という仕事に携わっているのは幸いなことです。

## 辞書はことばの解像度を上げてくれる



「辞書部屋」に所狭しと並ぶ辞書と、意味ありげな亀のぬいぐるみ

## 新しい「つつら」

しかし、ことばの意味は、辞書が前もって定めるわけではありません。大前提として、辞書は世間で言われていることばを写し取るので、現実に通じている意味を後追いつける存在です。

そして、世間で言われている「つつら」の実態に目をやれば、「ずらずら」のように用いる例の何と多いことか。お手軽に Google Books で検索するだけでも、《思いつくまつつら書く》《思

いがつつら浮かんでくる》《例をつつらと羅列する》のような言い方は大量にヒットします。「じっくりと羅列する」などとパラフレーズしては意味が通じませんから、「連なるように羅列する」が言いたいことだろうなあと思われされます。

話しことばにも新しい「つつら」は当然出てきます。国会の会議録には次の発言が見つかりました。

《しかし、あれは総理の言ったことをつつらつつらと書いただけで、余り胸



筆者お気に入りの辞書たち(の、ほんの一部)。  
『三省堂国語辞典』は、祖父の見坊豪紀(けんぼうひでとし)が初代編集主幹を務めた



YouTube「辞書部屋チャンネル」にて、同じ辞書マニア仲間の稲川さんと読み比べなどをして辞書の楽しさを発信中



## 辞書を読む醍醐味

ところで冒頭、「つらつら」の新しい語義を押さえた辞書は「ほとんど」と書きませんでした。つまり載せているものもある、ということで書名を挙げますと、2022年に改訂された『三省堂国語辞典』第八版が採録しています。前の第七版と比べたら、『②だらだら。「一（と）書きつらねる」』が加わっていました。もう一声、「並べ立てるさま」までカバーする語釈があると良かったような気もしますが、従来の「よくよく」以外の意味も存在するのだと示した点では、明らかに一步前進です。

このように辞書が地道に努力した痕跡に出逢うと嬉しくなります。実例や内省、旧版や類書と照らし合わせて「こんなことまで載っているのか!」あるいは「こんなことも載っていないのか!」と一喜一憂するのが、辞書を読む醍醐味のひとつでしょう。

辞書は商品によっても版によっても違い、見比べればそれが如実に表れてきます。辞書の解釈や扱いの差に注目していると、頼りない自らの言語意識が少しずつ磨かれていくようです。ことばの世界を観察しながら、様々な辞書の助けでことばの解像度が上がっていくのは、悪くないものです。

を打つものがないんですね》(篠原孝議員、2021年4月27日衆議院環境委員会)

何でしょう、これは。私は「つらつら」と「ずらずら」の間みみたいな印象を受けました。上記のような例を見るにつけ、「つらつら」に前述のBの意味がかなり定着している実情が浮かび上がってきます。辞書の記述はことばの現実に遅れていると判断せざるを得ません。辞書が“使えない”、悲しい瞬間です。

こんな場面は辞書を引いていれば日常茶飯事で、辞書だけでも頼りません。

少々困るのが、校閲しているゲラ上で、Bの「つらつら」に遭遇した場合です。文脈次第では、「ずらずら」の意味で使われていても誤読の心配はないかもしれない。かと言って、本来の意味ではないし、辞書にもないし。修正を提案すべきか、せざるべきか……。

実際にどう対応するかはケースバイケースです。しかし一つだけ確かなのは、校閲者が最も重視する相手は辞書ではないということ。そのゲラ、その表現にとって何が最善か、が最大の優先事項です。

著者の表現を尊重し、可能な限り意図を汲み取った上で、いかに効果を損なわずに読者に届けられるか。良好な読書体験の妨げにならないなら、いわゆる“誤用”であっても敢えて間違い

扱いしないという選択肢さえあり得ます。(ちなみに言い添えますと、現実には「念ノタメ」などと留保しつつ、職業的に指摘させていただくことが多いです。念ノタメ)

## 英語の“間違い”探し

日本語の表現ひとつですら苦慮するのに、私の所属する部門では、英語の校閲も担当しています。そんなこと可能なのか?と感想を抱かれそうですが、幸か不幸かノンネイティブでも何とかできる、いわば単純なミスは、出版前のゲラに珍しくないもの。ネイティブスピーカーが書いた、あるいはネイティブチェックを通ったという英文の場合でも、表現の自然さは担保されていても、誤字脱字は潜んでいたりします。訳のずれや抜けも頻出します。だから、私(たち)のようなノンネイティブ校閲者の役に立てる余地もけっこうあります。

ただし、母語でない言語の“間違い”探しでは、母語以上に自分の感覚を当てにできないことは言うまでもありません。少しでも知識が怪しいと思ったら……いえ、知っていると思っけていても、辞書を引く。コーパスに当たる。実例を探す。そんなことを繰り返しながら、目の前のゲラが少しでもいい本になるよう、お手伝いをしています。



見坊行徳 (けんぼう ゆきのり)

辞書マニア、校閲者。1985年生まれ。早稲田大学在学中、サークル「早稲田大学辞書研究会」を立ち上げ「早稲田大辞書」を編纂。イベント「国語辞典ナイト」、YouTube「辞書部屋チャンネル」(youtube.com/jishobeyaCH)などに出演。辞書コレクターの稲川智樹との共著に『辞典語辞典』(誠文堂新光社)。『三省堂国語辞典から消えたことば辞典』(三省堂)を2023年3月刊行予定。

# あちこち日本語ご紹介

マダガスカル共和国 アンタナナリボ

## マダガスカルの日本語教育

アンタナナリボ大学 日本語講師  
ラクトマナナ アンビニンツア

### 世界で4番目に大きな島国

アフリカ大陸の南の島国、マダガスカル共和国は、世界で4番目に大きな島国で日本の約1.6倍の面積を持つ。首都はアンタナナリボで、全人口は約2900万人、18民族で構成されている。

マダガスカルは1896年から1960年までフランスの植民地だった。そのため、マダガスカル語だけではなくフランス語も公用語となっている。独立後もフランス文化やフランス語が多大な力を持っており、多くのマダガスカルの新聞やテレビ番組は現在もフランス語で作られている。しかし、国民が皆、フランス語が話せるわけではない。

マダガスカルの教育制度はフランスを模倣して、小学校は5年間、中学

校は4年間、高校は3年間である。中学校から英語の授業があり、高校ではスペイン語、ドイツ語、ロシア語が選択科目として教えられている。また、大学にはマダガスカル語以外に、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国語の学科が開設されている。

日本との外交関係は今年で60年になる。様々な分野で外交関係があり、その一つに日本語教育がある。

### 大学の日本語教育

マダガスカルの日本語教育は1970年代より始まり、1992年には国立アンタナナリボ大学人文学部に選択科目として日本語が導入された。2016年、日本政府の草の根支援で、アンタナナリボ大学の人文学部内に日本語研究室が設立され、英語学科「英語・日本語コース」が開設された。さらに、2019年にはマダガスカル語学

科「マダガスカル語・日本語コース」が増設された。現在、アンタナナリボ大学の日本語教育の場は選択科目としての日本語(英語学科のみ)と日本語コース(英語学科、マダガスカル語学科)の2種類ある。

日本語コースは3年間で学士が授与される。2年生で日本語能力試験N4又はN3合格、3年生までにはN3又はN2の合格程度のレベルを目指している。3年次には教授法と観光日本語の科目を導入している。今年の「英語・日本語」および「マダガスカル語・日本語」コースの学生数は1年生90人、2年生70人、3年生40人である。日本語学習者の目的の多くは、日本文化の知識を得て日本に留学するため、そして将来の就職のためである。

主な教科書は『みんなの日本語』と『日本語初歩』で、アンタナナリボ大学だけではなく、私立大学や民間学校でもこれらを使用している。『みんなの日本語』はマダガスカルの公用語であるフランス語版があるため、教師にも学習者にも説明が分かりやすい。『日本語初歩』はマダガスカル人の日本語教師が学生の時使用していたため教えやすい。3年次は筆者が作成した観光日本語の教科書を使用している。しかし、教材不足がマダガスカルの日本語教育の問題の一つである。また、教師の人材不足及び教師の養成も問題の一つだ。現在、同大学の日本語教師は筆者を含めてマダガスカル人2名、日本人1名である。

私の夢は、多くの学習者の希望にこたえるため、他の外国語学科と同じようにアンタナナリボ大学に日本語学科が設立されることだ。



『みんなの日本語』シリーズで勉強している学生

アンタナナリボ大学の日本語研究室

# みんなの“日本語View from the Other Side”

このコラムでは、学習者や日本語に携わる方の視点から話題をお届けします



## 賢根 ジョン (KENNE JEAN)

1954年 カメルーン、バンガンで生まれる  
1978年 ヤウンデ大学卒業後来日、大阪外国語大学で日本語を学ぶ  
1985年 東京工業大学大学院電子物理工学専攻博士課程修了  
1985年~1999年 日本国内外の企業や大学で研修・研究・教育活動  
1999年~2018年 東京工業大学大学院で特別研究員・客員教授  
2009年 一般財団法人ザ・ダパード財団を設立。現在、理事長

illustration 内山洋見

## 日本留学して気づいたこと

私は大学生のとき日本に興味を持ち、フランス人の牧師が持っていた日本語のテキストを借りて、独学で日本語(ローマ字)を勉強しました。

日本の文部科学省奨学金を受けて来日し、大阪外国語大学で日本語を学びました。その後東京工業大学大学院電子物理工学博士課程(以下、大学院)を修了し、企業や大学院他で特別研究員・客員教授を務め、約40年になります。

大学院で研究・教育活動を行いながら人間行動学を学びましたが、そ

## アフリカと日本のこれからを考える

のなかでアフリカの開発の遅れに疑問を感じました。そして、日本政府主導のアフリカ開発に関する国際会議(TICAD)に関心を持ち、アフリカ人と日本人と共に、アフリカ開発問題に取り組もうとNPO法人ザ・ダパードを立ち上げました。学んできた応用心理学を活用し、社会教育セミナーや日本アフリカ人物交流などを実施しましたが、NPOは活動に制約があり、2009年に一般財団法人ザ・ダパード財団と改め、活動を広く展開することになりました。

アフリカの貧困・開発問題は、奴隷時代・植民地時代から続いている宗主国(先進国)との契約にあり、独立後も宗主国主導でつくられたものであることに起因すると思いました。

TICADのおかげでアフリカ人はいろいろなことに気づき始めました。

## 1993年以降の日本とアフリカ

1993年に始まったTICADは、アフリカにおける持続可能な開発促進のためにアフリカ諸国と国際機関や援助国、アジア、市民社会など賛同者を集めたフォーラムの場でもあります。参加者は国連やG7などにアドボカシー活動(政策提言等)を展開します。TICADを通して、アフリカは長

年にわたる奴隷制、植民地制度の呪縛から抜け出すことができました。開発政策の実現には、これまで受け継がれた「What Is In It For Me」を根絶する必要があります。

TICADの成果の1つに、多くのアフリカ人が留学や研修で日本を訪れたことが挙げられます。来日したアフリカ人の多くは日本に留まるか他国へ移住しました。日本に定住した人は、アフリカや外国と取引する企業で働き、日本とアフリカのビジネスに大きな役割を果たしています。昨年8月チュニジアで開催されたTICAD 8では日本は国連安保理の改革を呼びかけました。2025年日本開催のTICAD 9に、期待が寄せられています。

## ザ・ダパード財団の活動

私たちは今日の地球規模の様々な問題がアフリカの貧困にあると考え、貧困救済のための自立経済開発モデルを設定しました。アフリカの資源・人材・研究機関を活用し、製造加工業など産業の育成、輸出による資金還流、就業の機会を作り生活基盤を整えます。資金援助ではなく、人の知恵・知識・経験の交流を基にした生涯教育プログラムを展開し、世界規模の永続的な繁栄に寄与していきたいと考えています。

地球で最も豊かな大地の一つであるアフリカをより住みやすい地にするために、私はこれからも日本の富(技術力)について真摯に学び、活動に取り組んでいくことを最重要課題と考えています。

<http://www.dapad.org/Japanese.html>

## 『外国人生徒のための教科につながる日本語 応用編』

有本昌代 著

B5判 240頁(予定) 2,200円(税込) 4月発行予定



## 日本語と教科に関連する知識や語彙を 統合的、横断的に学び、考える力、伝える力を育てる

有本昌代

『外国人生徒のための教科につながる日本語』シリーズは、外国にルーツを持つ生徒のための日本語教材で、「基礎編」「応用編」「発展編」の3つの段階を通して、学びを深めていきます。

今回の「応用編」は、初級の日本語を身につけた次の段階にあたり、中級レベルの日本語と、教科学習に関連する知識や重要語彙を統合的、横断的に学びます。さらに学習した知識をもとに、さまざまな活動を通し、思考力、表現力を育てることを目的としています。

### 本教材の特長

各トピックは教科に関連する内容で構成され、教科学習のために身につけておきたい語彙や知識、文法を学習するとともに、日本語の4技能(聞く、読む、話す、書く)の力を総合的に養います。

### 「応用編」のトピックで扱うテーマ

- 1: 情報社会
- 2: 日本の歴史
- 3: 小泉八雲
- 4: 短歌と俳句
- 5: 地震
- 6: ノーベル賞
- 7: 体と健康
- 8: ボランティア活動
- 9: リサイクル
- 10: 故事成語
- 11: 音楽の歴史と作曲家
- 12: 人権と裁判

「応用編」では国語、現代社会、日本史、世界史、地学、科学、情報、保健、音楽などの幅広い分野を扱います。学習者自身のことや日常的なトピックを中心に扱った「基礎編」よりも、教科の内容に深く踏み込んでいます。また、説明文などの硬い文を増やし、文法も教科書などによく使われるものを取り上げました。各トピックでは、ディベート、インタビュー、スピーチ、俳句作り、伝記作成などのさまざまな活動を行い、アウトプットする過程で「7つの育てたい力」「身につけさせたい7つのスキル」を育てます。

### <7つの育てたい力>

- ①文化を創造する
- ②環境問題を考える
- ③人生・生き方を考える
- ④世界に関心を持つ
- ⑤歴史・伝統から学ぶ
- ⑥新しい時代に適応する
- ⑦国境を越えた繋がりを知る

### <身につけさせたい7つのスキル>

- ①批判的思考力
- ②経験・歴史・先人から学ぶ力
- ③知識活用力
- ④問題発見・解決する力
- ⑤創造力・想像力
- ⑥表現力・発信力
- ⑦コミュニケーション力・話し合う力・協調力

### 各トピックの流れ

- (1) はじめに: トピックに関する既有知識の確認をし、トピックに興味を持たせます。
- (2) リスニング: 本文の要約、関連した内容を聞き、トピックの概要理解を行います。
- (3) 漢字言葉学習: 関連する言葉カードを用いて単語の読みと意味の確認、例文づくりを行います。
- (4) 文法学習: 学習した文法を使って正しく文を作れるようにします。
- (5) 本文: 本文に関する内容理解と応用的な問題を解かせます。
- (6) 活動: 様々な活動を通し、学んだ知識とスキルを融合させ、アウトプットすることで定着させます。

この教材が、教科学習への橋渡しとして役立てられること、さらに外国にルーツを持つ外国人生徒だけではなく帰国生徒や留学生にも幅広く活用していただけることを期待しています。本教材での学習を通し、日本についてより多くのことを知り、世界へ視野を広げるきっかけとなることを願っています。

# 「JLPTポイント&プラクティス」シリーズ



本シリーズは、日本語能力試験を受験する皆さんが、試験で重要なポイントを効率的に身につけ、短期間で合格に近づけるように考えられた試験対策問題集です。「文法」「文字・語彙」「読解」「聴解」それぞれの著者によって厳選された学習項目について、問題を解きながら理解を深め、力をつけることを目指します。N5からN1まで、シリーズ全20冊を順次発行いたします。

## 特長

### ①厳選された学習項目

試験合格に向けて「これだけは知っておくべき」と考えられる、より重要な項目に絞って学習します。従来の対策テキストでは量が多すぎて消化しきれない、という人にも取り組みやすくなっています。

### ②短期間でできる

「文法」「文字・語彙」は20回～30回、「読解」「聴解」は12回～15回の取り組みで終わられるように構成しています。

### ③試験形式の問題と充実した解説

練習問題は、本試験と同形式のものを中心に収録しています。また、問題ごとに解説(英語・中国語・ベトナム語訳付き)があるので、一つひとつしっかり確認し、疑問を解決しながら進めます。

「文法」「文字・語彙」「聴解」は、問題パートとリストパートで構成されています。

「文法」「文字・語彙」のリストパートは各回の問題パートに対応しているため、問題を解いた後で確認したり、苦手な部分をまとめて覚えたりすることができます。「文字・語彙」のリストパートの「ことば」と「漢字」はウェブサイトで音声も聞いていただけます。「聴解」のリストパートは試験によく出る表現が例文とともにまとめられています。

「読解」は別冊(解答・解説)に正答だけでなく誤答の多くにも説明をつけ、キーワードとなる表現を提示しました。正答の根拠となる部分が確認できる本文の図解「解答のポイント」や「N3」の中文・長文の「本文の要約」できらに理解を助けます。

「文法」「文字・語彙」は教材採用校(法人)向けに、クラス単位でアプリも販売しています。

## 発売中のラインナップ

### 《N3》

「文法」「文字・語彙」「読解」「聴解」

### 《N4》

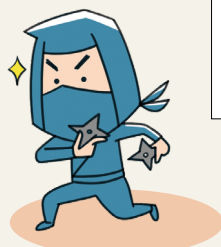
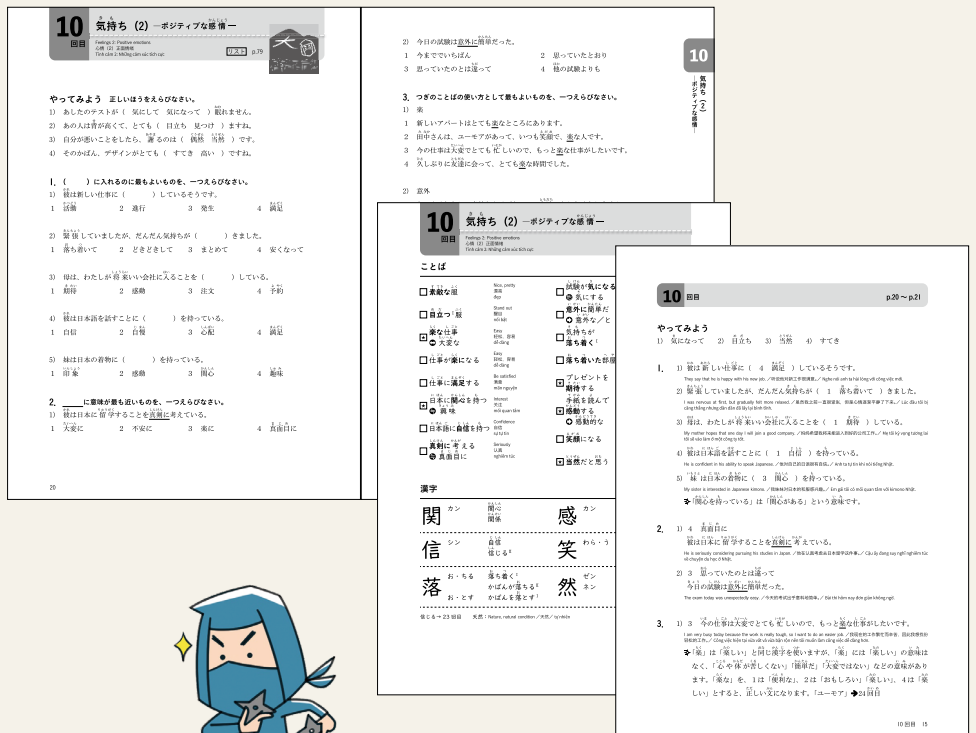
「文法」「文字・語彙」「読解」「聴解」

### 《N5》

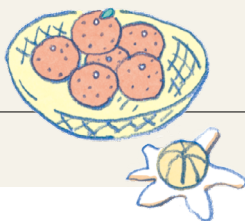
「聴解」

N5の「文法」「文字・語彙」「読解」、N2、N1の各科目も、順次発行予定!

立ち読み・詳細



『JLPT文字・語彙N3ポイント&プラクティス』より



外国人生徒のための教科につなげる日本語 応用編 2,200円 4月発行予定

## お知らせ

### 第二十六回(通算)《世界の日本語学習者『日本語作文コンクール』》作文募集!

留学生や中国の大学生、世界の日本語学習者・研究者を対象に実施されてきた《日本語作文コンクール》です。奮ってご応募ください。

テーマ:

#### 一・「日本語と私」

(日本語を学ぶことになったきっかけ。日本語学習の難しさ、楽しさ。日本語を将来どのように活用し、役立てたいか。好きな「日本語・ことわざ」など、「日本語」に関することなら何でも)

#### 二・「あなたの国にとって、『日本』は、どんな国ですか？」

(あなたの国と『日本』はどんな関係ですか? あなたの国は、『日本』に何を期待しますか?)

\*いずれかのテーマを選んでください。(二つのテーマに応募することも出来ます)。

\*字数は800～1500字(本文のみ)

応募資格:日本語を学習・研究している外国籍の方

応募メ切:2023年4月30日(日)必着

応募方法:国籍、氏名、年齢、性別、学校名か職業、連絡先・メールアドレス

レスを明記の上、件名「日本語作文コンクール応募」とし、国際交流研究所(yurami@yahoo.co.jp)までメール添付(団体応募も可)。

表彰: 一等賞(2編)賞状、日本招待一週間または賞金20万円  
二等賞(5編)賞状、賞金10万円  
三等賞(20編)賞状、賞金3万円  
努力賞(40編)賞状、賞金1万円

審査員: 一次審査 大森和夫・大森弘子(国際交流研究所所長・編集長)  
二次審査 笈川幸司(広野未来スピーチ倶楽部部長、日本語教師)、大森和夫・大森弘子、羽原清雅(元・朝日新聞政治部長)、古谷浩一(朝日新聞論説委員)

発表: 2023年7月、国際交流研究所ウェブサイトにて発表

主催: 大森和夫・大森弘子

事務局: 広野未来スピーチ倶楽部

後援: 国際交流基金、JICA(青年海外協力隊)、朝日新聞社

協賛: スリーエーネットワーク

詳細: 国際交流研究所ウェブサイト(<https://www.nihonwosiru.jp/>)



### 授業に役立つきほんのICT講座

スリーエーネットワークのウェブマガジン 3A Plus「授業に役立つきほんのICT講座」では『みんなの日本語 初級 第2版 絵教材 CD-ROMブック』『みんなの日本語 初級 第2版 教え方の手引き』付属CD-ROM収録資料の基本的な使い方について、コラム形式でご紹介しています。



### おかげさまで50年

当社は、本年創立50周年を迎えることとなりました。皆さまのご支援に心から感謝し、これからも語学教材の出版を通して、人と人のネットワークを大切に、人の輪を広げ、世界の平和に貢献してまいります。

一層のご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。



スリーエーネットワーク  
おかげさまで50周年

季刊ジャネット

# Ja-Net No.104

スリーエーネットワークという社名は、アジア(Asia)、アフリカ(Africa)、ラテン・アメリカ(Latin America)の三つの地域をネットワークでつなぎ、相互理解と友好促進を図ろうという趣旨をシンボライズしています。

2023年1月25日発行

● 発行人 藤崎政子  
● 発行所 (株)スリーエーネットワーク

Ja-Net 編集室  
〒102-0083 東京都千代田区麹町3-4  
トラスティ麹町ビル2F

TEL: 03-5275-2722 FAX: 03-5275-2729  
E-mail: sales@3anet.co.jp  
<https://www.3anet.co.jp/>

● デザイン パーシック 畑中 猛  
● イラスト 須山奈津希(P.1, 8)  
● 印刷 (株)ワコー  
© 2023 by 3A Corporation  
Printed in Japan (禁無断転載)

「Ja-Net」をご希望の方はお名前・ご住所・ご所属を編集室までお知らせください。無料でお送りいたします。次号は2023年4月25日発行予定です。